

構成しました。それぞれにおいて多くの方々が熱心に聴講・議論されていきました。また市民公開講座では、明治維新の歴史についての講演があり、興味深く拝聴させていただきました。約800名の方々に参加していただきました。本連合大会開催にあたりご支援、ご協力を賜りました関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

## 第14回宮城県支部学術集会

学術集会会長：公益財団法人仙台市医療センター  
仙台オープン病院院長 土屋 誉

2022年7月30日に宮城県支部学術集会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症患者の急増により、



会場風景

予定の1週間前に急遽延期せざるを得ない状況となり、日程を12月3日に再設定しました。

しかし第8波の流行期と重なり、開催も危ぶまれましたが、なんとか予定通り当院での現地開催にこぎつけることができました。参加者は131名と予想を上回る多くの皆様に参加していただきました。

学術集会のテーマは2024年に実施しなければならない医師の働き方改革に合わせて『待ったなし！働き方改革』としました。テーマに関する演題は9題集まり、医師のみならず、看護師、メディカルスタッフ、事務員からの発表もありました。また特別講演は社会保険労務士による働き方改革についての講演でした。新型コロナウイルス感染関連の演題や一般演題も含めて22題の発表がなされました。

対面の学術集会であったため、久しぶりに関係者が集う有意義な学術集会になったことも大きな収穫でした。

## 第16回愛知県支部学術集会

学術集会会長：独立行政法人地域医療機能推進機構  
中京病院副院長 加田賢治

2022年12月10日(土)に愛知県支部学術集会を開催しました。新型コロナウイルス感染第8波が到来しておりましたが、十分な感染対策を行ったうえで現地

開催としました。「医療現場でICTを活かすー働き方改革・地域連携の推進に向けてー」を学術集会のテーマとし、特別講演と一般演題の2部制としました。

特別講演では名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンターの山下暁士先生より、効率化に向けた看護師業務の見える化、医療機器の稼働場所・稼働状況の把握、手術の使用物品管理、ロボット搬送などICTを用いた研究や実例を多数ご紹介いただきました。一般演題では15題の発表があり、スマートフォンアプリ開発による患者サービス向上、業務用スマートデバイス導入による医師負担軽減、RPA導入による業務効率化など、各施設の独自の取り組みが紹介されました。私自身、近隣病院の先進的な取り組みに大きな刺激を受けました。

参加者は108名で、終始活発な質疑や意見交換が行われ、Web開催では得られない現地開催のメリットを感じました。開催にあたり多大なご支援とご協力を賜りました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



会場風景

## 支部学術集会開催案内

### ー第28回静岡県支部学術集会ー

学術集会会長 静岡県立静岡がんセンター副院長  
寺島雅典

- ・テーマ コロナのパンデミックを通じて学んだ病院の危機管理対応
- ・日時 2023年8月5日(土) 10:00~17:00
- ・会場 プラサヴェルデ コンベンションぬまづ  
(沼津市大手町1-1-4)
- ・プログラム
  - ・特別講演
  - ・シンポジウム
  - ・一般演題
  - ・ランチョンセミナー
- ・問合せ先  
静岡県立静岡がんセンター  
副看護部長 片田 真理子  
マネジメントセンター 小澤智子